

1. 事業の位置付け

事務事業名	通級指導教室整備事業		
事業担当	学校教育部 子ども教育相談センター		
予算科目	01-100107-080000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標 1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	04	4 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる	
根拠法令等	学校教育法施行規則第140条		
対象・受益者	幼児・児童・生徒・保護者・教職員	事業期間	平成22年度～
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
通級指導が必要な子どもたちが、整備された通級指導教室で個々の教育ニーズに応じたきめ細かい指導が行われます。		「ことばの教室」の施設老朽化・狭あい化を解消し、発達障がいの子どもの教育ニーズに対応するため、「ことばの教室」と「(仮称)発達障がいの子どものための教室」を併設した通級指導センター的機能を持つ施設の整備を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名		単位	
	説明・算定式			
	目標値	平成22年度	平成23年度	平成24年度
活動指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
	目標値	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標①	指標名	通級指導教室整備進捗率	単位	%
	説明・算定式	平成23年度を100%とした事業進捗率 H22：土質調査10%、施設建設80%、H23：解体工事10%		
	目標値	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標②	指標名		単位	
	説明・算定式			
	目標値	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	通級指導教室「ことばの教室」の施設老朽化に伴い改築が行われなければなりません。また、発達障がいの子どもにも対応できる新たな通級指導教室の設置が求められています。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	通級指導教室の整備は改築に向けて欠かすことはできません。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	発達障がいの子どもにも対応できる通級指導教室としての整備が求められています。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	計画的に整備していく必要があります。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析				
通級指導教室の改築に当たっては、「ことばの教室」と「(仮称)発達障がいの子どものための教室」を併設した通級指導センター的機能をもつ施設の設備とする必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成22年度試算額	平成23年度試算額	平成24年度試算額
事業内容		土質調査、施設建設（リース）	解体工事、リース料支払	リース料支払
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	3,000	36,000	30,000
事業費 (A)		3,000	36,000	30,000
内訳	職員 (人)	0.45	0.45	0.45
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00
	人件費 (B)	3,761	3,761	3,761
フルコスト (A+B)		6,761	39,761	33,761

## 4. 今後の事業展開（担当課としての提案）

平成22年度の事業の方向性			
建設地の土質調査及び施設の建設を行います。			
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行政改革事業 <input type="checkbox"/> 事務事業	課長コメント	平成19年度より特別支援教育が本格的に始まり、通常学級に在籍する発達障がいの児童生徒への支援体制作りが求められています。このような状況の中で、ことばの障がいだけでなく発達障がいの支援も行う通級施設として「ことばの教室」を改築し、通級指導センターとしての機能を持たせることにより、市民サービスの更なる充実を図りたいと考えます。